

### 一般社団法人日本光学会第8回定期総会議事録

日 時：2023年3月25日(土) 15:00~16:00

場 所：Zoom ミーティングにより実施

出席社員数(議決権行使・委任状出席を含む)：331名

議 事：総会成立の確認

- ・現会員数に対し過半数の定足数を満たしたことが報告され、本総会の成立が確認された。

#### 1. 第1号議案

下記について担当理事および監事から報告が行われ、承認された。

##### 1-1. 第8期事業報告

- ・第7期総会および4回の理事会、6回の総務委員会、および賞選考委員会の開催が報告された。
- ・第8期(2022年1月1日~2022年12月31日)の事業について報告された。

##### 1-2. 第8期決算報告

- ・第8期の決算について報告された。

##### 1-3. 監事報告

- ・事業報告および決算関係資料について監査した結果、適正であるとの報告がなされた。

#### 2. 第2号議案(役員改選)

- ・理事の改選について、以下の留任を含む13名の理事と1名の監事が指名され、承認された。

理事：川田善正、山口 進、谷田 純、伊藤雅英、大竹基之、桑田宗晴、佐藤 学、槌田博文、橋本守、的場 修、宮本洋子、山口雅浩、山本裕紹

監事：志村 努

#### 3. 報告事項

- ・第9期事業計画が報告された。
- ・第9期予算計画が報告された。

### 日本光学会第61回総務委員会議事要録

日 時：2023年1月7日(土) 13:10~16:10

場 所：Web 会議

出席者：山口進会長、他13名

#### 1. 審議事項

- ・次年度の理事および運営委員について議論された。
- ・OPJ 2023 の開催案について議論された。
- ・2023 年度の年間テーマについて議論された。
- ・設立70周年記念事業寄付金について報告された。
- ・第49回冬期講習会の応募状況について報告された。

- ・第48回光学シンポジウムの進捗と増員への取り組みについて議論された。

#### 2. 報告事項

- ・OPJ 2022 の収支について
- ・「光学」および「Optical Review」の現況について
- ・会員数の推移について

### 第48回光学シンポジウム開催案内

期 日：2023年6月21日(水)~23日(金)

開催形態：ハイブリッド方式(現地とオンライン)

主 催：日本光学会

共 催：応用物理学会フォトニクス分科会

参加登録：光学シンポジウム HP ([http://myosj.or.jp/event2/opt\\_symp](http://myosj.or.jp/event2/opt_symp)) 参照

問合せ先：実行委員長 中川照隆(オリンパスメディカルシステムズ)

[optsymp48-aud@myosj.or.jp](mailto:optsymp48-aud@myosj.or.jp)

チュートリアル(6月21日)2件(受講には別途参加申込が必要です)：「機械学習を用いた補償光学の基礎~Pythonによるプログラミング実践講座~」長谷川智士(宇都宮大学) / 「ホログラムから必要な情報を引き出す「デジタルホログラフィ」の基礎から応用まで」野村孝徳(和歌山大学)

シンポジウム(6月22・23日)：招待講演：「量子アニーリングを用いたブラックボックス最適化によるメタマテリアル開発」田村亮(物質・材料研究機構) / 「メタレンズとAIを融合したスペクトル撮像技術」曾我部陽光(NTTコンピュータ&データサイエンス研究所) / 「手段としてのハイパースペクトルカメラから、現場活用へのソリューション提案へ~ SoT (Spectrum of Things) ~」大橋郁(エバ・ジャパン) / 「高精細な3次元撮像のためのインコヒーレントデジタルホログラフィの研究」信川輝吉(NHK放送技術研究所) / 「レンズレスカメラに適した深層学習モデルとは」山口雅浩(東京工業大学) / 「高輝度中赤外レーザーを用いた非侵襲血糖値センサー—実用化に向けて—」山川考一(ライトタッチテクノロジー) / 「3次元光計算イメージングとその生命科学及び散乱透視イメージングへの応用」的場修(神戸大学) / 「光技術を利用したスマート農業・漁業応用」藤寛(大阪大学) / 他、一般講演

## 情報フォトンクス研究討論会 2023

画像システム、情報フォトンクス・情報光学、撮像デバイス、ディスプレイ、画像処理・応用などの研究分野に対する相互理解・情報発信の場として研究討論会を開催します。すべての発表はポスター形式であり、十分な討論が可能です。デモ展示やスライドショーも歓迎します。当該分野に関わるすべての方々のご投稿、ご参加をお待ちしております。

日時：2023年7月21日(金) 13:00~17:00

場所：東京工業大学大岡山キャンパス西9号館1階コラボレーションルーム(東京都目黒区大岡山2-12-1)

<https://www.titech.ac.jp/0/maps/ookayama/ookayama>

※社会情勢によりオンライン形式への変更可能性あり

主催：日本光学会情報フォトンクス研究グループ(IPG)

参加費：IPG 一般会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 2,000 円

参加申込：下記 URL からお申込みください。

参加申込期限：2023年7月14日(金)

問合せ先：中野和也(成蹊大)

E-mail [ipg-touron2023@i-photonics.jp](mailto:ipg-touron2023@i-photonics.jp)

URL <http://www.i-photonics.jp/meetings.html#20230721SGSIPG>

## 第5回光・レーザー関西2023

2025年関西万博で本格導入されるVR・AR技術やロボット技術のキーとなり注目を集める光とレーザー製品・情報が一堂に会する展示会。

期日：2023年7月19日(水)・20日(木)

場所：マイドームおおさか(大阪市中央区本町橋2-5)

主催：オプトロニクス社

協賛：日本光学会、レーザー学会ほか

入場料：事前登録制(無料)

来場登録：下記 URL からご登録ください

問合せ先：オプトロニクス社

電話 03-3269-3550 E-mail [event@optronics.co.jp](mailto:event@optronics.co.jp)

URL <https://www.optronics.co.jp/opto-kansai/>

## JOEM 技術講座「レンズ設計法」

期日：2023年7月6日(木)、7日(金)

時間：初日 10:00~16:30、2日目 10:00~16:20

場所：①日本オプトメカトロニクス協会研修室(機械

振興会館別館4階)、②オンライン(Microsoft Teams 使用)

講師：村田安規(元キヤノン)、牛山善太(タイコ)、松岡和雄(HIT)、金井守康(リコーイメージング)、阿部勝行(エビデント)

主催：日本オプトメカトロニクス協会

協賛：日本光学会、ほか

参加費：協賛 80,410 円(テキスト代・消費税を含む)

定員：25名(うち対面は先着順10名)

申込期限：2023年6月26日(月)

申込 URL：<http://www.joem.or.jp/moushikomi.htm>

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

TEL 03-3435-9321 FAX 03-3435-9567

E-mail [info@joem.or.jp](mailto:info@joem.or.jp) URL <http://www.joem.or.jp>

## JOEM 技術講座「照明光学系の基礎と設計法」

日時：2023年7月20日(木) 9:30~17:40

場所：ハイブリッド形式(対面+オンライン)。対面：機械振興会館別館4階(日本オプトメカトロニクス協会研修室)、オンライン：Microsoft Teams 使用。

主催：日本オプトメカトロニクス協会

協賛：日本光学会、ほか

参加費：協賛 44,880 円(テキスト代・消費税含む)

定員：25名(うち対面は先着順10名)

申込期限：2023年7月10日(月)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail [info@joem.or.jp](mailto:info@joem.or.jp) URL <http://www.joem.or.jp>

## JOEM 技術講座「LEDと半導体レーザーの基礎と応用」

日時：2023年8月9日(水) 10:00~16:30

場所：ハイブリッド(対面+オンライン Microsoft Teams 使用)での開催

講師：波多腰玄一(元東芝)

主催：日本オプトメカトロニクス協会

協賛：日本光学会、ほか

参加費：協賛 44,880 円(テキスト代・消費税含む)

申込期限：2023年8月1日(火)

問合せ先：日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail [info@joem.or.jp](mailto:info@joem.or.jp) URL <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 news の掲載申込先：

日本光学会 光学広報担当 E-mail koho@myosj.or.jp

メールの件名に「日本光学会 news 原稿」と記載してください。

なお、掲載申込は原則として発行日（10日）から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「レーザー研究」第51巻第4号（2023年4月号）目次

「3次元画像計測デバイスとその応用技術の進展」特集号

追悼

豊田浩一先生のご逝去を悼む…………… 緑川克美（211）

レーザーコンパス

50周年記念号の発刊について…………… 川田善正（212）

《特集》

レーザー解説

「3次元画像計測デバイスとその応用技術の進展」特集号よせて…………… 居波 渉, 川田善正（213）

高速画像処理を用いた3次元計測とその応用

…………… 宮下令央, 田畑智志, 石川正俊（215）

フラッシュ照射およびビーム走査可能な複合変調フォトニック結晶レーザーを搭載した非機械式小型3次元LiDARの開発

…………… DE ZOYSA Menaka, 坂田諒一, 石崎賢司, 井上卓也, 吉田昌宏, 野田 進（220）

信頼される自動運転用LiDARに向けて—高解像度化とセキュリティ—…………… 吉岡健太郎（225）

Time-of-Flightイメージセンサの高近赤外感度化と高精度化…………… 安富啓太, 川人祥二（232）

高精細Single-Photon Avalanche Diode（SPAD）イメージセンサとその応用…………… 戸島研三, 森本和浩（237）

レーザーレター

波長可変レーザーを用いた変調テラヘルツパルス波の生成

…………… 白水孝始, 清木直哉, 松本凌, 榎富直人, 三上裕也, 上田悠太, 加藤和利（242）

創立50周年特別レーザーフラッシュ

レーザー学会発足時を推し量って…………… 神成文彦（244）

レーザー研究A部門からのメッセージ…………… 橋田昌樹（249）

レーザー研究の歩み…………… 「レーザー研究」編集委員会（251）

レーザーフラッシュ

ドイツ公的研究機関における研究生生活…………… 田中裕樹（269）

国際学会ISLC（半導体レーザー国際会議）2022会議報告

…………… 荒井昌和（272）

会議報告：SPIE Photonics West 2023 —若手・学生の目から見た

Photonics West— …… 田邊孝純, 小口研一, 尾野仁深, 川口晴生, 栗田喜章, 河内優太, 水口高翔, 山本航生（274）

著者紹介

……………（278）

セルフフォーカス

……………（281）

レーザーカレンダー

……………（287）

「応用物理」第92巻第6号（2023年6月号）予定目次

総合報告

スピン軌道相互作用とスピントロニクス…………… 新田淳作

解説

窒化物半導体の光物性——発光再結合と非発光再結合の定量解析…………… 山口敦史

2 nm以降のロジックの配線技術と材料…………… 野上 毅  
表面分析の産業界への応用展開…………… 鮫島純一郎

研究紹介

マイクロLED神経科学プローブの開発…………… 関口寛人

基礎講座

動的環境を模擬した量子ビームオペランド分析の+αの研究技術…………… 平山朋子

ホッとひといき

AI・インフォマティクス応用について、今思うこと

…………… 杵掛健太郎

教育系YouTuberの未来…………… ヨビノリたくみ  
かけはし

Bridging cultures and occupations: Research, teaching, industry

…………… Martin ELBORG

Science As Art

BaTiO<sub>3</sub>迷路…………… 西川博昭

---

## 一般社団法人日本光学会 賛助会員

2023年5月1日現在の本会賛助会員は下記のとおりです。掲載させていただくとともに、本会事業に対するご賛助に厚く感謝の意を表します。

株式会社朝日ラバー	株式会社タムロン
アンシス・ジャパン株式会社	チームオプト株式会社
ウシオ電機株式会社	中央精機株式会社
株式会社 AAC Technologies Japan R&D Center	天進技術株式会社
株式会社エクモス	株式会社東芝
株式会社エビデント	株式会社東精エンジニアリング
株式会社エンプラス研究所	株式会社トプコン
オーウエル株式会社	株式会社ナック イメージテクノロジー
オプトシリウス株式会社	株式会社ニコン
株式会社オプトロニクス社	株式会社ニデック
オリンパス株式会社	一般社団法人日本オプトメカトロニクス協会
キャノン株式会社	日本シノプシス合同会社
京セラ SOC 株式会社	日本真空光学株式会社
株式会社清原光学	パナソニックホールディングス株式会社
株式会社光学技研	浜松ホトニクス株式会社
興和株式会社	株式会社日立製作所
株式会社五藤光学研究所	華為技術日本株式会社
コニカミノルタ株式会社	Phase One Japan 株式会社
株式会社三恵舎	富士フイルム株式会社
株式会社シグマ	古野電気株式会社
株式会社スカイテクノロジー	三菱ケミカル株式会社
ソーラボジャパン株式会社	株式会社リコー

以上 会員数 44 社, 59 口 (五十音順)

---

# Optics & Photonics JAPAN 2023

Optics & Photonics Japan (OPJ) は、光学および光技術に関する研究発表の場であると同時に、わが国の光学分野における情報発信の場として広く認識されております。本学術講演会のカバーする分野は、ナノフォトニクス、量子光学、情報フォトニクス、視覚光学、光計測、生体医用光学、光学設計に加えて、X線・EUV光学にまで拡がり、光科学から産業応用までの光に関わる広い領域を対象とした、光関係では国内最大級の学術講演会です。

OPJ2023は、「異分野融合」をテーマに23年ぶりに北海道にて開催します。一般講演に加え、OPTICAやSPIE、EOSの特別講演や、応用物理学会フォトニクス分科会と共同して台湾(TPS)やタイ(TOPS)、シンガポール(OPSS)などの学会からの招待講演による国際シンポジウムや、国内の様々な学会との合同シンポジウムを企画しております。

新型コロナウイルス感染症による行動制限もございませんので、対面での発表を原則といたします。対面発表の緊張感と活発な質疑、ならびに旧交を温める歓談を北の大地で開催されるOPJでお楽しみください。

【日 程】 2023年11月27日(月)～11月29日(水)

【会 場】 北海道大学 学術交流会館(北海道札幌市北区北8条西5丁目8-1)

【主 催】 一般社団法人 日本光学会

【共 催】 公益社団法人 応用物理学会 フォトニクス分科会(予定)

【協 賛】 映像情報メディア学会、応用物理学会光波センシング技術研究会、応用物理学会、画像電子学会、計測自動制御学会、情報処理学会、照明学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本医用画像工学会、日本オプトメカトロニクス協会、日本化学会、日本眼光学学会、日本機械学会、日本高圧力学会、日本視覚学会、日本色彩学会、日本写真学会、日本生物物理学学会、日本赤外線学会、日本天文学会、日本非破壊検査協会、日本物理学会、日本分光学会、日本放射光学学会、光化学協会、光産業技術振興協会、レーザー学会、レーザーセンシング学会、レーザー顕微鏡研究会 OPTICA, SPIE, EOS, OSK, TPS, TOPS(依頼予定)

【企画講演】 ◆基調講演◆ 三澤 弘明 氏(北海道大学 名誉教授)  
(予定) ◆受賞記念講演◆ 光学論文賞授賞記念講演 / 日本光学会奨励賞記念講演  
◆OSJ・JSAP ジョイントシンポジウム◆  
◆研究グループ等企画セッション◆

【募集内容】 光学および光技術関連分野における新しい研究で未発表のもの

【応募資格】 日本光学会員、および協賛学協会会員

【講演申込期間】 2023年7月24日(月)～8月24日(木)(予定)

【講演申込方法】 OPJ2023 Web サイト <https://opt-j.com/opj2023/> よりお申し込み下さい。

【予 稿】 A4サイズ1ページ(予定)。提出方法等はWeb サイトにてご確認ください。

【予稿締切】 2023年9月22日(金)(予定)

【講演方法】 口頭発表およびポスター発表を受け付けます。口頭発表の持ち時間は15分(質疑応答5分含む)です。発表は全て対面で行う予定です。

【参加費】 講演申込方法、参加費等につきましては、Web サイトにてご確認ください。

【予稿集】 ダウンロードまたはCDでの頒布となります(予定)。ダウンロード版の費用は参加費に含む予定です。予稿集のみの購入も可能です(大会に参加せずに予稿集のみ購入の場合)。

【参加登録】 詳細はOPJ2023 Web サイトをご参照下さい。 <https://opt-j.com/opj2023/>  
事前の申込手続きは10月23日(月)までの予定です。

【お問い合わせ】 OPJ2023 事務局

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-20 サンライズビルII 3F(株)アドスリー内  
TEL: 03-3528-9841 FAX: 03-3528-9842 電子メール: [opj@opt-j.com](mailto:opj@opt-j.com)

展示に関するお問い合わせ・お申し込みは、

原田 建治(北見工業大学、OPJ2023 実行委員会 展示担当) [kharada@mail.kitami-it.ac.jp](mailto:kharada@mail.kitami-it.ac.jp)

※2023/5/31現在



# 光設計研究グループ 第74回研究会 「光学技術で見せる/魅せる」



【日 時】2023年7月14日(金) 10:30-16:30

【場 所】東京工業大学 大岡山キャンパス デジタル多目的ホール / オンライン(Zoom)

【最寄駅】東急目黒線・大井町線「大岡山駅」

【ご案内】近年のXRなど眼に“見せる”ことで“魅せる”技術の発展には目覚ましいものがあります。本研究会では見ることの基本である視覚と脳科学の研究最前線についてのご講演と、“見せる”の最先端であるディスプレイの最新技術についてご講演を頂く予定です。更に、“魅せる”に貢献する光学とは何かを考える上で重要となる、光学とアートが掛け合わさった実例についてのご講演も予定しています。ご参加頂いた皆様にとって、人の心を引き付ける光学について考える機会となり、ひいては光学の楽しさを再確認頂く機会になれば幸いです。昨今の状況も踏まえつつ、参加者同士の交流の機会も設けたいと考えています。是非ご参加下さい。

## プログラム

10:30 開会の挨拶

10:40 視覚と脳科学

1. 好みを科学する：視覚的嗜好と普遍性

中内 茂樹(豊橋技術科学大学)

11:20 “魅せる”①

2. 空中像光学系を用いた現実拡張

苗村 健(東京大学)

<昼休憩> (12:00-13:20)

13:20 “見せる”①

3. ホログラムによるホログラムのためのホログラム応用技術開発

堀米 秀嘉(株式会社エガリム)

14:00 “見せる”②

4. ライトフィールド技術を活用したヘッドマウントディスプレイの開発

前田 恭孝(日本放送協会)

<休憩> (14:40-15:00)

15:00 “見せる”③

5. 日本初の8K LED ドームディスプレイを用いたデジタルプラネタリウム

～LED ドーム技術の概要と、集団体験型高臨場感ディスプレイ装置の可能性～

古瀬 弘康(コニカミノルタプラネタリウム株式会社)

15:40 “魅せる”②

6. 光学技術で魅せるアートは、火に近くなる。

土佐 尚子(京都大学)

16:20 閉会の挨拶

16:30 交流会 (当日の準備状況より、開始時間が変更となる可能性があります。)

※題目・講演順は変更となる場合があります。予めご了承ください。最新の情報はホームページをご確認下さい。

【主催】一般社団法人 日本光学会 光設計研究グループ 代表：長谷川 雅宣 (キヤノン)

【共催】一般社団法人 日本写真学会

【協賛】応用物理学会、日本オプトメカトロニクス協会、SID 日本支部、日本画像学会、画像電子学会、日本印刷学会

【参加費】光設計研究グループ個人会員：4,000 円、光設計研究グループ学生会員：無料、  
日本写真学会会員：4,000 円、日本光学会及び協賛団体個人会員：8,000 円、  
光設計研究グループ賛助会員企業：8,000 円、一般：10,000 円  
日本光学会及び協賛団体学生会員：1,000 円、学生一般：2,000 円

【聴講及び予稿ダウンロード】

参加申込者には、銀行振込確認後、閲覧用の ID とパスワードを発行します。

予稿のダウンロードは、研究会前日の9時頃より可能です。

希望に応じて、研究会後に予稿集(紙媒体の機関誌)を郵送致します。

【定員】 現地参加：130名(定員に達した後の申込みはその旨ご連絡致します。)  
オンライン参加：無し

【ホームページ】 <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

【申し込み方法】 下記 URL 若しくは右記 QR コードよりお願い致します。

<https://forms.office.com/r/7CPTj4mzND>

※ 頂いた個人情報、当研究会運営に必要な目的の範囲内においてのみ取扱います。

【問合せ先】コニカミノルタ株式会社 橋本 雅文 E-mail: [k74@opticsdesign.gr.jp](mailto:k74@opticsdesign.gr.jp)

